

# NEWSLETTER

No121219

前日号(no121119)に引き続き VC について解説します。  
 現在私たちが実行しているナンバーオペレーションでは TRIANGLE(MTRX)と HAND TABLE に加えて VC は必須の道具です。

S 値以外の数字を書き込んでいない表をご覧ください。  
 VC の数字がどのような仕組みになっているのか他の月とどのように繋がっているかを知ることが大事です。骨格をまず捉えることです。

C	S	P
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	

MTRX の当該月の数値  
 に連動  
 ↓  
 [atm] の S 値と一致  
 ex. 15.30 である場合  
 [atm] は 15 と 16 の  
 間

C と P の値(バリュー)が反対の関係にあることは理解されていると思います。

テーブル S の欄の 10~25 の値をここでは S 値と呼ぶことにします。  
 S 値はマトリックスの6個の基本数値及びその変化と関連しています。

VC のテーブルではまず 10C の値(バリュー)を当該月のマトリックスの数値を見ます。

次に、同数値(マトリックスの数値)に近い S 値の呼応する C と P のそれぞれの値を見ます。

さらに、VC のテーブルにおいてマトリックスの数値と同水準の S 値の箇所に水平ライン(横線)を引きます。それによって C と P の値の領域を区別します。